

中部大学通信



SINCE 1967

No. 230

July 2024

ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



特集

5月11日に行われたChubu Walk

大学院生に密着！

海外ラジオ放送

学長補佐、宇宙航空学科 保黒政大 教授

長く続いている私の趣味の1つに「ラジオを聞くこと」があります。ラジオを聞くといっても、その対象は海外のラジオ放送です。インターネットが普及している今日では、世界各国のニュースなどをインターネット上のWebサイトや動画などで知ることができます。しかし、私が幼少期のころ（中学生くらい?）にはインターネット環境はなく、海外のニュースを見かけるのは、テレビ放送での衛星中継がたまに流れる程度でした。このような状況下で、たまたま自宅の台所に、短波放送を聞くことができるラジオがありました。ラジオ放送は、AM放送（中波）とFM放送（超短波）が一般的ですが、短波放送では、その電波が遠く海外まで伝わります。日本でも海外向けの放送をNHKが提供しています。この短波ラジオからは中国や韓国など異国の言語での放送がたくさん聞こえ、中には海外から日本へ向けた日本語放送も聞こえてきました。これらの放送を聞き、受信状況や内容などをレポートとして放送局に送ると、受信確認証（ベリカード）というものを返送してくれます。放送局によっては、多少のノベルティグッズを送ってくれる



短波ラジオ

CONTENTS

桃国四季 P01

海外ラジオ放送

保黒 政大教授

特集 P03

大学院生に密着！

Close Up P05

タイの森で光るカタツムリを発見！

大場 裕一教授

特集レポート P07

2023年度決算報告

学生編集委員のページ P09

暑さに負けるな！熱中症対策！

学生編集委員のページ P11

ウプト学生編集委員の活動をご紹介します

ようこそわが研究室へ P13

リン酸塩を活用した機能性材料開発

櫻井 誠研究室

わがクラブ P14

四季折々の活動とスピードへの挑戦 スキー競技部

A Friend from Abroad P15

グローバルな視野を持つ 研究者を目指し、中国から日本へ 胡 歆笛さん

私の学生時代 P16

簡単なひと言だが、 簡単には言えないひと言 堀尾 郷介講師

CAMPUS NEWS P17

全学学科対抗スポーツ大会 etc.

Random Shot P21

自分の経験を学生に還元 鈴木 佑介さん

活躍するOG P22

英会話教師として、運営スタッフとして 菅原 希美さん

たところもありました。

このようにして、日常生活ではアクセスできない国からの音声を聞くことができる短波放送に魅力を感じ、アジア諸国だけでなく、世界中の放送を聞くことを楽しんでいました。無線通信やコンピュータネットワークに興味を持ったのも、このような体験がきっかけだったのだらうと思います。最近では、インターネットの普及により短波放送の意義が薄れたのでしょうか、短波放送を行っている放送局も減ってきました。私自身も、子どものころのように、毎日聞くことはなくなりましたが、思い出としては短波ラジオを引っ張り出してきて、海外からの放送を聞いています。短波ラジオを見つけたら、海外放送の受信に挑戦してみたいかがでしようか。近年は太陽活動が活発な時期であり、短波放送が遠くまで届きやすくなります。遠くの国からの放送が聞こえてくるかもしれません。



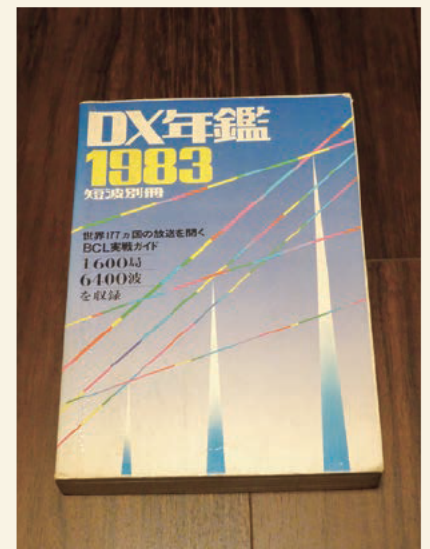
受信確認カードなど

海外放送のガイドブック(絶版)



保黒 政大
ほくろ まさひろ

名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻博士
後期課程修了。博士(工学)。幼いころからコンピ
ュータや無線通信に興味を持ち中部大学工学部へ入学。コ
ンピュータメーカーに就職して設計・開発を経験。音
声や画像認識を本業としているが、通信の分野にも大
きな興味がある。





大学院生に密着！



大学院へ進学を決めた理由を教えてください



化学の研究を続けたいと思ったのと、自分の専門分野以外のことでも学んで幅広い知識を持って将来研究職に就きたいと思ったからです。幼いころから科学に興味があり、時々母に博物館や科学館に連れて行ってもらいました。さらに中学校、高校でより専門的な物理や化学を勉強するようになった時に未知のものを探究する研究職があることを知りました。

持続社会創成教育プログラムを受講することを決めた理由を教えてください

広く学ぶことができます。また、所属専攻以外の異なった視点をもつ友人とコミュニケーションをとることで自分の成長にも活かせると感じました。



幅広い知識を持った研究職を目指す



渡邊 拓実さん

工学研究科 応用化学専攻 博士前期課程2年
幅上茂樹研究室

研究テーマを教えてください

研究テーマは高分子ゲルを有機化学反応の、環境にやさしい水中での反応場として応用する研究です。私たちの研究室ではゼリーのように柔らかく、でも壊れない特殊な構造をもつゲルの合成を行っています。分子構造を適切に設計して触媒としての機能を付与したゲルの合成について検討しています。



持続社会創成教育プログラムで受講した内容を教えてください

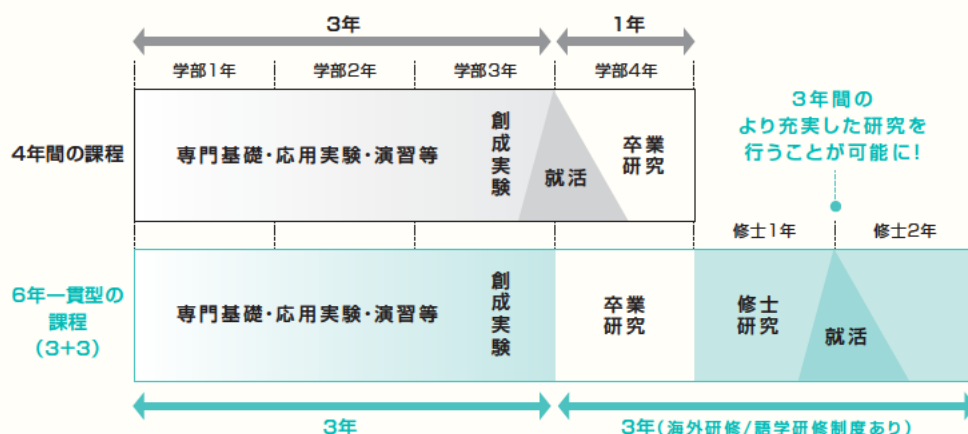
通常のプログラムでは専門である化学の単位を主に取得するのにに対し、持続社会創成教育プログラムではプログラミング、データサイエンス、AI、英語など自分が研究している化学以外のさまざまなことを学びます。特に木に登りながら英会話をする「樹冠生態観察を通じた実践英会話」という授業が印象に残っています。



大学院へ進学してよかったと思うことを教えてください

1番は高校生の頃から憧れていた学会に参加できたことです。学会では自分の研究について発表したり、他の人の研究内容を聞いたりすることがとても有意義で、勉強になります。また、学会が開催される場所によっては自分が今まで訪れたことがない場所に行くことができるので、その地域の文化や特産物などを調べることもでき、楽しい経験になります。

大学+大学院(計6年間)の実験・研究設計



中部大学大学院では建学の精神や基本理念に則り、高い専門力に加えて、高度な俯瞰力や豊かな人間性を備えたリーダー人材の育成を目指し、「持続社会創成教育プログラム」を2021年4月に開設しました。また、2022年1月には、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」に採択されました。今回はこれらのプログラムに参加している2人の大学院生に密着します！

次世代研究者挑戦的研究プログラムについて
詳しくはこちら



持続社会創成教育プログラムについて
詳しくはこちら



また、本プログラムで行われる「社会課題ワークショップ」は、同じ採用者である異分野の大学院生とグループワークを通して、エネルギー・環境健康の課題を中心に、カーボンニュートラル、環境保全、健康寿命延伸などについて検討します。このディスカッションを通して、身近な事物が研究に関連するという課題を発見し、解決する能力を養うことができました。



JST SPRINGプログラムに参加したことで
変化はありましたか？

グローバルな視点で、日本文化を見直すことができるようになったことです。日本文化研究は専門領域の関係上、学会発表の場が日本に限られてしまいがちですが、本プログラムを通して、海外(タイ)を視察したことで、日本文化は観光や教育の面で需要があることを学び、自身の研究に活かせるのではないかと考えるようになりました。

大学院へ進学を決めた理由を
教えてください

中学生の頃に大学で勉強したいテーマがあり、学部1年次の時点で、すでに大学院進学が漠然とした目標としてありました。当時も指導教授である岡本聡教授のすすめで、三重大学大学院(修士課程)に進学し、その折に嘱託学芸員として勤務しました。このとき、日本文化研究を社会に還元できる研究者になることの重要性を学び、博士後期課程に進学するきっかけとなりました。

日本文化研究を
持続可能社会の糧に



榎木 宏成さん

国際人間学研究所 言語文化専攻 博士後期課程3年
岡本聡研究室

研究テーマを
教えてください

江戸時代の俳諧(俳句)をテーマとしています。美濃派を嗜む人々は、俳諧やその他の文化振興を通じて、地域共同体で生きる上で必要な道徳心や教養を身に付けていました。このような特徴は、持続可能社会を形成するヒントになるのではないかと考えており、本研究が上述した社会実装に発展しました。



JST SPRINGプログラムに参加する
ことを決めた理由を教えてください

このプログラムでは専門能力の深化と総合大学の強みを活かして分野融合研究に挑戦することが可能となります。私は、本学の「日本伝統文化推進プロジェクト」で井上徳之教授と出会い、人文学の知見が理系(天文学)の研究発展に貢献していることを知りました。文系と理系の知見を組み合わせることで、研究成果の社会還元が一層可能となることを学び、研究者としての幅を広げたいと考え、挑戦しました。

大学院へ進学してよかったと
思うことを教えてください

日本文化研究の意義を実感しながら、研究活動に取り組むことができました。また、専門的な知見を深めると同時に、俳諧の周辺文化に対する知見も深めることができました。



VISION
01



大学1~4年

研究を続けたい

学部1年生の時から、大学院でも研究を続けたいと大学院への進学が目標となった。

VISION
02



修士課程、学芸員

日本文化の
魅力を伝えたい

教育普及活動を通して、日本の伝統文化の魅力をもっと多くの人に伝えたい。

VISION
03



現在

これまでの研究を
現代社会に還元したい

自分が今まで研究してきた日本文化研究の成果を、現代社会に還元し、より専門的な研究者を目指したい。

応用生物学部 環境生物科学科 大場 裕一 教授

タイの森で光るカタツムリを発見！



チュラロンコン大学の教員や学生たちと一緒にタイ東部を調査した時の様子。
木の根本を掘って、隠れているカタツムリを探します。

光るカタツムリがいると聞いたら、皆さんは驚くでしょう。しかし、そんなファンタジーの世界から抜け出してきたような不思議生物が、タイで5種も見つかりました。発見したのは、私たち中部大学のチームとタイ王国の大学チームです。

実は、光るカタツムリが見つかったのは今回が初めてではありません。日本の羽根田弥太という発光生物学者が、1943年にシンガポールで世界最初の光るカタツムリを発見しています。しかしそれから今日までの80年間、光るカタツムリは世界にこの1種しかないと考えられてきました。

しかし、私たちは「世界に1種ってことはないだろう、もう少しいるんじゃない？」と思っていました。深い根拠はないのですが、何か光る生物がいればそれに近い仲間にも光る種が大抵いるからです。例えば、ホタルの仲間（ホタル科）は、世界に2000種以上が知られています。そのすべてが発光します。世界には3万種以上ものカタツムリがいますから、それなら光るカタツムリももついてもおかしくありません。

そこで私たちは、生物多様性の高い豊かな自然が多く残るタイ王国を調査フィールドに選びました。タイのチュラロンコン大学とは以前から共同研究でつながりがあり、共同研究先の研究室が陸生無脊椎動物を専門としていることも、タイに焦点を当てたポイントでした。実はこの研究を主導したチュラロンコン大学の大学院生（当時）アーシット・ポンヨタ博士は、中部大学の私の研究室に半年間留学しています。また、私の研究室の大学院生2人は、チュラロンコン大学にそれぞれ4カ月と半



大場 裕一

発光きのこからホタル、深海発光魚まで、あらゆる発光生物を対象とするちょっと変わった研究室を主宰しています。趣味は、ホタルが登場する浮世絵のコレクション。本もいろいろ書いているのでインターネットで検索してみてください。



このカタツムリが軟体動物オブ・ザ・イヤー2024を受賞しました。学名は *Phuphania crosseii* です。休眠中の個体ですが、殻の口から見える軟体部が緑色に発光しています。

年間留学しました。

調査の結果は「大ビンゴ！」でした。タイ国内を広く巡って調べたところ、発光するカタツムリが合計5種も新たに見つかったのです。このニュースは、私たちも驚くほど日本の多くのメディアに取り上げられました。しかし、不思議とタイではほとんどニュースになりませんでした。日本には生き物のテレビ番組がたくさんあるように、日本の人は生き物の不思議に関心が高いのかもしれない。

そんな中、先日うれしいニュースが届きました。私たちが見つけた発光カタツムリのうちの1種が、ドイツの自然史博物館やロエベ（あの高級メゾンのロエベー）の研究機関が主催する「軟体動物オブ・ザ・イヤー2024」で1等賞に輝いたのです。

「カー・オブ・ザ・イヤー」なら知ってるけど何だそれ？と思ったかもしれませんが、世界にはそういうコンテストがあるのです。ウミウシや貝などが特に人気ですが、世界中には軟体動物の熱烈なファンが少なからずいて、そうしたファンの投票で、その年に発見されたすごい軟体動物のナンバーワンが選ばれるのです。そして今回は、5つのファイナリスト軟体動物の中から最終投票の結果、過半数の票を獲得して光るカタツムリが圧勝したのです。日本だけではなく、世界にも発光カタツムリの発見に感動してくれた人たちがたくさんいたようです。

この優勝者（優勝生物？）は、副賞として全ゲノム配列を解読してもらえます。このゲノム情報を使って、私たちはさらに発光カタツムリの研究が進められます。

特集レポート

2023年度決算報告
〔法人事務局財務部〕

大学の 収入・支出 分析

学校法人中部大学の2023年度決算は、5月30日の理事会で承認されました。本学園は、大学、高校、および中学校を有しており、その計算書類は学校法人会計基準に従って作成しています。

ここでは計算書類から大学部門の決算を抜粋して、その概要を報告いたします。

Part 1

2023年度の中
部大学の事業活動収
支状況は【表1】のと
おりです。学生生徒等納付金
や経常費等補助金など経常的
な収入から人件費や教育研究
経費など経常的な支出を引い
た「経常収支差額」は18億3千
2百万円となりました。また、
経常収支差額に当年度限りの
臨時的な収入と支出（特別収
支）を加味した「基本金組入前
当年度収支差額」は20億6千
3百万円となりました。20
23年度は、経常的な収支と
臨時要因を加えた全体の収支
ともに収入超過であり、全体
としては収支バランスのとれ
た決算であったといえます。

【表1】の経常収入の内訳と
経常支出の内訳をグラフ化し
たものが経常収支構成図（グ

【表1】2023年度中部大学事業活動収支状況 単位:百万円

科目		決算額
教育活動収支	収入	
	学生生徒等納付金	14,925
	手数料	348
	寄付金	280
	経常費等補助金	2,004
	付随事業収入	776
	雑収入	684
	教育活動収入計	19,017
	支出	
	人件費	9,704
教育活動外収支	教育研究経費	6,285
	管理経費	1,322
	徴収不能額等	13
	教育活動支出計	17,324
	教育活動収支差額	1,693
教育活動外収支	収入	
	受取利息・配当金	166
	その他の教育活動外収入	16
	教育活動外収入計	182
	支出	
	借入金等利息	43
特別収支	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	43
	教育活動外収支差額	139
経常収支差額		1,832
特別収支	収入	
	資産売却差額	9
	その他の特別収入	286
	施設設備寄付金	0
	現物寄付	230
	施設設備補助金	55
	特別収入計	295
	支出	
	資産処分差額	58
	その他の特別支出	6
基本金組入前当年度収支差額	特別支出計	63
	特別収支差額	231
	基本金組入前当年度収支差額	2,063
基本金組入額合計		△2,382
当年度収支差額		△319
(参考)	事業活動収入計	19,494
	事業活動支出計	17,430
	経常収入(教育活動+教育活動外)	19,199
	経常支出(教育活動+教育活動外)	17,367

皆さんが納めている授業料や入学金です。経常的な収入の約78%を占めています。

大学を支える教職員の給与および退職金等です。

教育研究活動に必要な経費で、教育や研究のために有効に活用しています。

経常的な収支のうち教育研究の収支です。

経常的な収支のうち財務活動の収支です。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計です。経常的な収支状況を表しています。

当年度限りの臨時的な収支状況です。

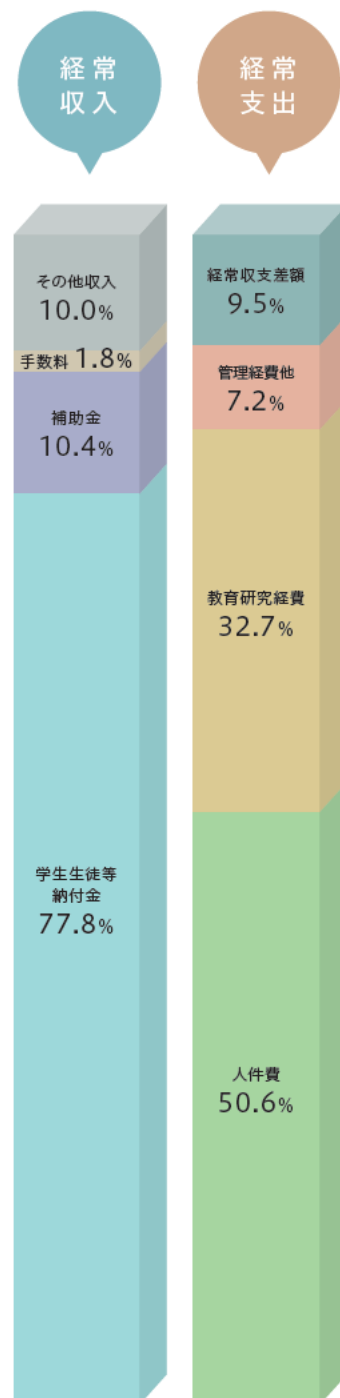
建物、備品、図書など将来を見据え、学校運営に必要な財産を取得した額です。取得額を収支差額から控除(マイナス表示)することになっています。

※百万単位で四捨五入しているため、計の欄の金額が表の金額と一致しない場合があります。

Part 2

【グラフ1】です。この図を見ると教育研究活動への影響が大きい「人件費」と「教育研究経費」に経常収入の83%を充てており、皆さんの学生等納付金をはじめとする収入が重点的に教育研究活動に使用されていることが分かります。

【グラフ1】経常収支構成図



Part 3

最後に本学と同規模大学の全国平均値（理工系複数学部）との比較をしてみましょう。

【グラフ3】の経常収入に対する構成比率比較図は、主要な項目について本学と全国平均値を比較したものです。

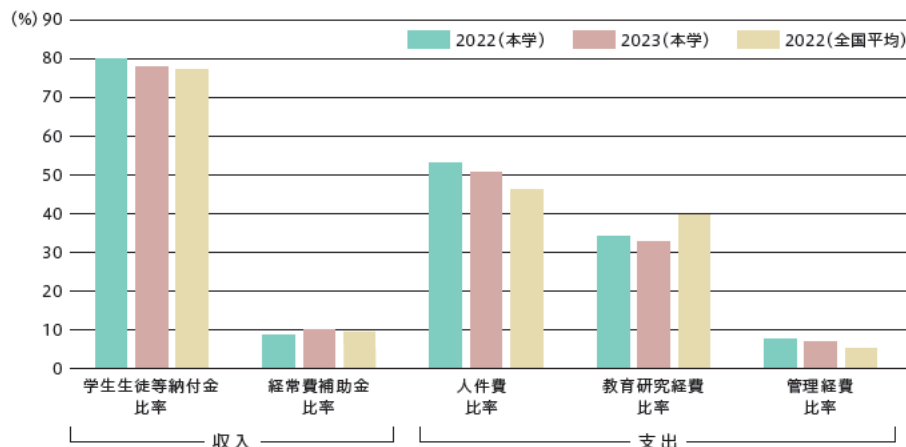
大学の主な収入である学生生徒等納付金と経常費等補助金が経常収入に占める比率は、他大学とほぼ同様であることが分かります。

一方、支出については教育研究経費の比率が全国平均と比べてやや低く、人件費の比率が全国平均と比べてやや高くなっています。

これは本学が他大学と比べてより多くの教員を配置していることを表しています。その結果、教員一人当たりの学生数が少なくなり、実習のサポートや少人数教育など、学生一人一人に対する活発な教育研究活動につながります。

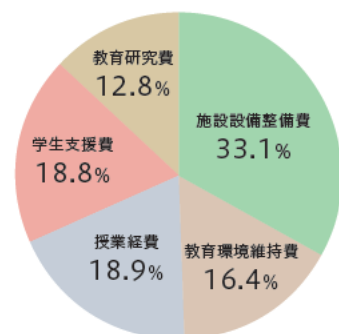
今後とも教育内容の一層の充実に努めるとともに、バランスのとれた財務状況を目指し、学生生徒等納付金の有効な活用に努めます。

【グラフ3】経常収入に対する構成比率比較図



【グラフ2】教育研究経費の明細

総額: 62億8千5百万円



次に教育研究経費の使途を目的別に見てみましょう。教育研究経費は全体で62億8千5百万円であり、その内訳は教育研究経費の明細【グラフ2】のとおりです。また、項目別の内容はそれぞれ次のようになります。施設設備整備費は建物や備品の整備・更新に充当される費用です。教育環境維持費は学生の皆さんが自主的に勉学を深める図書館などの運営経費や大学の情報通信環境の維持費などです。授業経費は授業を行うための教材費や光熱水費、またその運営を支援する事務部門の費用です。学生支援費は課外活動の支援、資格講座・就職講座の実施、健康診断、奨学金など皆さんの学生生活を支援している費用です。教育研究費は各研究所や先生方の研究のための費用で、企業等からの委託研究費もこの中に含まれています。



暑さに負けるな！熱中症対策！

今年も暑い夏がやってきます。

いつでもどこでもだれでも熱中症にかかる危険性があります。

今回の学生編集委員のページでは熱中症対策・熱中症について紹介します。

POINT

01

通学時

▼電車、自転車などさまざまな通学方法がありますが、無理をせず休憩を取りながら向かう、黒い服装をできる限り避けるなどの対策があります。また普段自転車や徒歩などで通学している方は、熱中症警戒アラートが発令している日はバスで通学するなどその日の天気や通学方法を変えることも対策となります。



POINT

02

食べ物

▼食事の栄養バランスを整え、体力を低下させないことが重要です。蕎麦には鉄分やマグネシウムなどが多く含まれているので、第1学生ホールの「ころそば」は、汗でミネラルを失う夏場にはありがたい食べ物です。



POINT

03

持ち物

ハンディ扇風機 小型で軽量の物が多いため、携帯しやすく手軽に使用することができます。
日傘 折り畳みの日傘がおすすめです。晴雨兼用のものや軽量タイプのものなど、さまざまな商品があります。
冷却グッズ 冷却シートなどを使用して首元など太い血管が体の表面近くを通っているところを冷やすと、効率よく体を冷やすことができます。



POINT

04

服装

▼屋外にいる時は、アームカバーや帽子を着用して、直射日光を避けましょう。衣服には、麻や綿など通気性のよい生地や、冷感機能のある服を選んだり、下着には吸水性や速乾性に優れた素材を選ぶなど、熱中症の危険を避けやすくしましょう。



POINT

05

日頃の生活

▼バランスのよい食事やしっかりとした睡眠をとり、丈夫な体をつくりましょう。エアコンや扇風機を適度に使用し、睡眠環境を整えることや体調管理をすることで、熱中症にかかりにくい体づくりをすることが大切です。



POINT

06

水分補給

▼暑い日は知らないうちに汗をかき、体内の水分が失われています。のどが渇いていなくてもこまめに水分をとるようにしましょう。スポーツドリンクなどの塩分や糖分を含む飲料は水分の吸収がスムーズにでき、汗で失われた塩分の補給にもつながります。





「熱中症」について知っていますか？

どんな症状？

人体は、体表の温度が上がれば体内の熱を外へと放散させたり、汗の蒸発に伴って体内の熱を下げたりして、体温を一定に保とうとしています。しかし、高温多湿の環境下に長くなると、こうした体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもり体調が悪くなってしまう状態を熱中症と呼びます。

こんな症状は危ない！

- めまいや顔のほてり
- 筋肉痛や筋肉のけいれん
- 体のだるさや吐き気
- 汗のかき方がおかしい
- 体温が高い、皮ふの異常

こんな場所では要注意！

- 気温・湿度が高い
- 風通しが悪い
- 日差しが強い
- 急に暑くなった



保健管理室からのお願い

保健管理室は
9号館1階！



大学内で熱中症と疑われる状況が発生した場合

【応急処置】

- ①涼しい環境への避難 ②衣服を緩める ③体を冷やす ④水分補給

上記を行うとともに保健管理室へ連絡してください。

ただし、意識(呼びかけに反応)がない場合は直ちに救急車を呼び、
保健管理室にも連絡してください。

※保健管理室閉室時(平日17時以降および休日)は、守衛室(電話：0568-51-1113)へ連絡

ウプト学生編集委員の私たちが企画・取材しました



加藤 涼子
コミュニケーション学科
3年



江口 心
日本語日文化学科
3年



伊藤 帆乃佳
日本語日文化学科
3年



河村 明音
日本語日文化学科
3年



小林 愛実
日本語日文化学科
3年



熊野 千菜
環境生物科学科
4年



神戸 朋瑛
AIロボティクス学科
1年



寺西 明
現代教育学科
1年



村松 大雅
心理学科
1年



熊部 日菜
国際学科
1年



阿部 倫弥
歴史地理学科
2年



吉村 希
国際学科
2年

ウプト学生編集委員の活動を紹介します



、ウプト学生編集委員って？／

ウプト学生編集委員は、本誌『ウプト』の編集の一端を担う学生です。

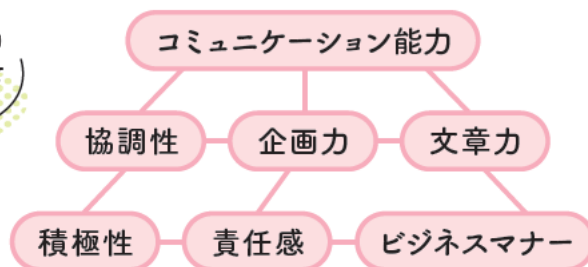
「学生編集委員のページ」のコーナーをメインに担当し、学生ならではの目線で企画、取材、執筆を行います。

また、留学生を紹介する「A Friend from Abroad」のコーナーでもインタビューに挑戦し、原稿を執筆しています。

企画の楽しさや、伝えたいことを発信し、形にできる喜びがウプト学生編集委員にはあります。



4年生秋の時点で、それまでの活動実績により大学広報への貢献に対して表彰されます。



社会に出てからも役立つ、こんな能力が身に付きます！

ウプト学生編集委員の声

体験談

星野 結菜さん

VOICE 3

読書が趣味で、新聞や地域のフリーペーパーを読むのが好きでした。中部大学には資格試験の受験で訪れたことがあり、入学前からウプトも読んでいました。好奇心から編集委員に入りましたが、想像以上に活動の幅が広く、驚いています。学生自ら企画を立てたり、留学生や大学内で活動されている学生団体の方に取材に行ったりと、いろいろなことが経験できるのでわくわくすることばかりです。まだ入ったばかりですが、一生懸命頑張りたいと思います。

西岡 夏実さん

VOICE 2

私はウプト学生編集委員の活動を通して、普段であれば関わることのない人たちに取材をすることで、新しい知識が増えました。また、あまり人と会話することが得意でなかった私でも、取材を重ねるうちに初対面の人に物おじせず気になることを質問して、話せるだけの度胸がつきました。原稿は自分のスケジュールに合わせ書くことができるので、他の部活動やサークルと両立することができ、かつ自分でスケジュール管理をする力がつきます。

塚本 愛美さん

VOICE 1

ウプト学生編集委員の活動を通して、他学部・他学科の人と交流する機会が増えました。自分の学科だけでは聞くことができない話を聞くことができることが醍醐味だと思います。また、留学生の取材をすることもあります。取材は、経験があるメンバーと一緒に行うので初めてでも心配はいりません。自分の予定に合わせて活動できるので、大学在学中に何かをしてみたい方はぜひ参加してみてください。



2024年度 ウプト学生編集委員 (敬称略)



伊藤 帆乃佳
日本語日本文化学科
3年



西岡 夏実
ロボット理工学科
3年



塚本 愛美
ロボット理工学科
3年



河村 明音
日本語日本文化学科
3年



小林 愛実
日本語日本文化学科
3年



熊野 千菜
環境生物科学科
4年



小野 あんじゅ
国際学科
1年



熊部 日菜
国際学科
1年



阿部 倫弥
歴史地理学科
2年



吉村 希
国際学科
2年



加藤 涼子
コミュニケーション学科
3年



江口 心
日本語日本文化学科
3年



神戸 朋瑛
AIロボティクス学科
1年



寺西 明
現代教育学科
1年



星野 結菜
食品栄養科学科
食品栄養科学専攻1年



村松 大雅
心理学科
1年

ウプト
学生編集委員
大募集!

特に1・2年生を歓迎しますが、学年は問いません。いつからでも始められます。

関心のある方は、学園広報部制作課(2号館1階)までお越しください。

電話、メールでもお問い合わせ可能です。

☎0568-51-4465(学園広報部制作課直通) ✉seisaku@office.chubu.ac.jp



ようこそ

わが研究室

vol.184

応用化学科
櫻井 誠研究室

リン酸塩を活用した 機能性材料開発

櫻井研究室では、生体親和性の高いリン酸カルシウムの一種であるヒドロキシアパタイト(HAP)と環境対応型難燃剤として期待されるリン系難燃剤に関する研究を行っています。HAPは歯や骨などの主成分であり、生体と化学的に結合することから、人工骨などに応用されている材料です。加えて、HAPはタンパク質の吸着能があることから、HPLC(High-Performance Liquid Chromatography: 高速液体クロマトグラフィー)カラム、重金属の分離精製などさまざまな分野での応用が期待されています。また近年、火災リスク低減のため高分子材料(プラスチック等)には難燃性が求められています。難燃剤の中でも、従来よりハロゲン系難燃剤は優れた難燃化効果を有することから使用されてきましたが、環境や生物への有毒性が懸念されるためハロゲンフリー難燃剤が求められています。そこで、当研究グループでは少量で所望の難燃性を達成可能なリン系難燃剤に着目しています。

本研究室は、連携大学院制度により技術研修生として産業技術総合研究所中部センター(名古屋市中)で研究指導を受けることが可能です。また、コアタイムがないことから研究とプライベートの両立が容易で、研究以外の面でも充実した学生生活を送ることができます。



ゼミ生レポート



工学研究科
応用化学専攻博士前期課程1年

浅野 颯斗

ゼミ生に
ひとこと



工学部 応用化学科
さくらい まこと
櫻井 誠 教授

自主性に任せた卒業研究生活をモットーに活動していますが、毎日来ることが当たり前の卒研生活から時代は流れ、数ある単位の中の一つととらえる学生が増えてきた印象です。短い時間の中で何か一つ「これを見つけた」「あれを改善した」と足跡を残せる1年になることを願っています。また、大学院生になると卒研生の面倒をみたり、機器、薬品の管理を行うことで、かなり成長するという印象です。

先生はこんな人

櫻井先生はとても親身になって接して下さる先生です。また、学生一人一人の自主性を重んじて下さるため、伸び伸びと意欲的に実験をさせてもらえます。また、キャリア部長をされているので、エントリーシートなどで悩んだ時は一発で解決してもらえます。昨年の卒研生も先生の指導により複数名が「無い内定」から脱することができました。



わがクラブ

スキー競技部

Club News No.197

四季折々の活動と スピードへの挑戦

皆さんこんにちは、スキー競技部です。私たちは大学が冬季休暇中の2月・3月に行われる全国岩岳スキー大会に向けて、長野県（長野県）の数原高原スキー場またはエイブル白馬五竜スキー場で泊まり込みで練習を行います。昨年は12月末から1月初



旬までエイブル白馬五竜スキー場で合宿を行いました。

スキーと聞くと冬だけの活動と思われるがちですが、私たちはスキー競技部はオフシーズンも活動しています。授業期間中の毎週月曜日と水曜日はサブグラウンドで筋トレなどを行っています。しかし、これは強制ではなくオフシーズンに部員が自主的に集まるので、アルバイトや私用の調整も可能となっています。また、夏季休暇中は基礎スキー部と合同で約1週間夏合宿を行い、冬合宿に向けての体力作りを行っています。

さて、皆さんはスキースポーツと聞いてどのようなスポーツをイメージしますか？2022年の北京冬季オリンピックでは多くのスキー競技が行われました。しかし、スキーの競技と聞いてもあんまりピンとこないかもしれません。そこで、スキースポーツについて少し説明します。

スキースポーツには大きく分けて基礎スキーと競技ス

キーがあります。基礎スキーはフォームの美しさやターンの構成などを競い、競技スキーはアルペンスキーやクロスカントリリーなどといったゴールまでの1分1秒を争うスピードデైనスポーツです。フォームが完璧でなくても、早くゴールした者が勝者となります。その中でも私たちが行っている種目はアルペンスキーで、雪の斜面に立てた2本のポールの間を通りながら滑降り、タイムを競います。

簡単に説明しましたが、実際にやってみないと分からない部分も多いと思います。これを機に一度スキーというスポーツに触れてみるのはいかがでしょうか



Instagram



スキー競技部代表
心理学科2年

清水 翔太

か？スキー競技部は経験者、未経験者問わず、皆さまの入部を歓迎します。「入部したい！」または「もっと詳しく知りたい！」という方はクラブ・サークルプラザ4階405号室またはInstagramのDMへ気軽にご連絡ください。皆さんからのご連絡を楽しみにお待ちしております！





File.112

Hu Xindi

胡歆笛さん

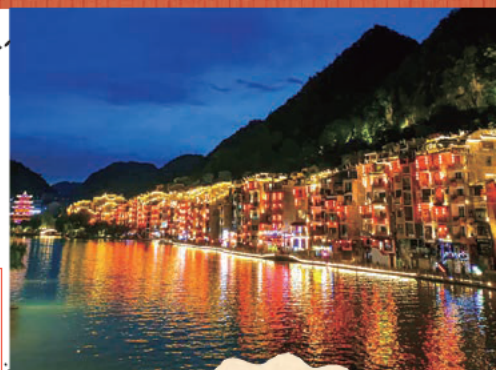
工学研究科応用化学専攻博士前期課程2年

A Friend from Abroad



中華人民共和国(貴州省)

中国西南部の省で、省都は貴陽市。人口は約4,000万人で面積は約17.61万km²。山河が美しく、気候が穏やかで過ごしやすいため「中国旅行の宝箱、世界自然の公園」と称されていて、山、水、滝、洞、湖、林を一つにした緑豊かなカルスト地形を保ち、悠久な原始文化と素朴な少数民族の風情を今に残している。



グローバルな視野を持つ 研究者を目指し、中国から日本へ

Q. これまでの経緯を教えてください。

私の母校である嘉興大学と中部大学大学院は、^{かこう}学術協定を結んでいたため指導教授から推薦していただき、日本へ留学することを決めました。日本人の、製品に対する「職人精神」と研究に対する繊細さに惹かれ、それらを留学を通して身につけたいと思いました。そして自分自身の視野を広げ、新しい環境でチャレンジしていきたいとも思っています。また、私は中国で日本語を独学で勉強していたので、学んだことを実際に日本で活用し、上達したいと思っています。

Q. 今学んでいることを教えてください。

現在、大学院工学研究科で応用化学を専攻しており、高分子材料についての研究をしています。繊維の素材として知られるナイロンに少量のカーボンナノチューブを添加し、その性能・機能を向上させることが目的です。この研究は、自動車などに用いられる材料の小型化や軽量化に役立ちます。素材の処理方法や複合化方法を工夫して大きな物性向上を達成し、学会で発表することができました。

Q. 課外活動は何かしていますか。

私は語学力を生かし、ゲーム会社でカスタマーサポートのアルバイトをしています。業務内容は、日本および海外のユーザーからの問い合わせへの対応です。また、旅行会社で英語ガイドをしており、ヨーロッパからのお客さまを日本の伝統的な観光地に案内し説明したことがあります。それ以外にも、日中文化交流イベントでボランティア活動をしています。微力ながらも、日中文化交流に力を尽くしたいです。

Q. 将来の夢を教えてください。

「グローバルな視野を持つ一人前の研究者」になりたいです。グローバルな環境で、自分の語学力と研究能力を活用し、業務を通して自己成長も同時に実現していきたいと思っています。日本で就職活動を行い、内定をいただきました。日本企業で私の夢を実現していきたいです。

Q. 出身地について教えてください。

私の故郷は中国の西南部に位置する貴州省貴陽市で、自然の美しさと多様な民族文化で知られており、涼しく住みやすいです。貴州省は多民族省としても知られ、多くの少数民族が住んでいます。各民族独自の文化、特にその伝統的な衣装や音楽、祭りは観光客にも人気があります。ちなみに私も少数民族の苗族です。貴州の料理は辛味と酸味を特徴とする料理が多く、中でも「酸辣粉(サンラーフン)」や「貴州麻辣燙(キシウマーラータン)」は非常に有名です。



〈取材〉学生編集委員

西岡 夏実 ロボット理工学科3年(写真左)

塚本 愛実 ロボット理工学科3年(写真中左)

村松 大雅 心理学科1年(写真右)

第73回

私の学生時代

経営総合学科 堀尾 郷介 講師



簡単なひと言だが、簡単には言えないひと言

私の学生時代と銘打って話すほど中身は濃くないかもしれない。出身である愛知県を離れ鹿児島県の大隅半島に移り、年間平均気温が17度である鹿屋市にある鹿屋体育大学で学生時代を過ごした。大自然に囲まれた土地で講義とサッカーの練習以外に

やることのない日々であったが、忘れもしない出会いがあった。

1年生のある冬の日、先生から頼まれごとで研究室に向くと、今から「中村文昭さんの講演会があつて、チケット余っているけど行くか」と言われた。誰だろうか、そんなスポーツ選手や指導者はいたかなと思いつた。でも、特に断る理由がなかったので行くことにした。決して自ら行きたく



▲ 大学院時代、サッカー部のコーチとしても活動
(日本代表ザッケローニ氏と最後列右から3番目が筆者)



▲ 高千穂峰を登山
(写真右が筆者)

て行つたわけではないが、講演会が終わるころには無意識に前のめりになつて話を聞いていた。中村さんは年間約300本の講演を行っている人である。数々の良い言葉がある中で、自分がその日以来一度も忘れず、実践してきた好きな言葉がある。「返事は0.2秒」、「頼まれ事は試され事」だ。

その日以来、自分が頼まれることには全て素早く「はい、やります」と答えるようになった。サッカー部では、誰もやる人がいないおかげもあり主務を任せられた。日本サッカー協会などへの選手登録や試合の手配だけでなく、宿泊先はもちろん、飛行機の手配や全国大会中の練習場の手配などを講義、練習、アルバイトやデートと並行して行い、約1000人の部員を支えた。また、当時では珍しかった

大学スポーツへのスポンサーシップにも主務として関わり、スポーツとスポンサー企業との関係性も自然と学べる環境となつた。その後は、大学院に進学しスポーツ科学を学びながら、同時にサッカー部のコーチも担った。後にJリーグのトップチームでコーチをやることに繋がった。全ては「はい、やります」からであつた。また、「やれる」、「やれない」理由を探すことよりも「どうやったらやれるのか」を考えることが大切だつたのだろう。

CAMPUS NEWS

全学学科対抗スポーツ大会

6月5日午後、第22回全学学科対抗スポーツ大会が開催され、全学科の学生1,100人以上が参加した。競技はメイングラウンドで大縄跳びとリレー、サブグラウンドでドッチビーが、学内各所でナソトキサバイパルが行われた。また、放送研究会の学生が中心となって、大会の様様をYouTubeで生中継した。

総合
優勝

スポーツ保健医療学科

大縄跳び

- 1位** スポーツ保健医療学科
- 2位** 機械工学科
- 3位** 経営総合学科
現代教育学科

リレー

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 〈男子〉 | 〈女子〉 |
| 1位 スポーツ保健医療学科 | 1位 理学療法学科 |
| 2位 国際学科 | 2位 食品栄養科学科 |
| 3位 経営総合学科 | 3位 スポーツ保健医療学科 |

ドッチビー

- 1位** 国際学科
- 2位** 応用化学科
- 3位** 経営総合学科

ナソトキサバイパル

- 1位** 宇宙航空理工学科+
宇宙航空学科
- 2位** コミュニケーション学科+
メディア情報社会学科
- 3位** スポーツ保健医療学科

能楽鑑賞会

5月22日午後、三浦幸平メモリアルホールで、中部大学日本伝統文化推進プロジェクトの「能楽鑑賞会」が開催され、学生187人、教職員15人が参加した。シテ方観世流能楽師 久田三津子氏による「野宮」と能面、型などの解説の後、学生たちが実際に能の所作、能装束の着付け、和楽器の演奏を体験した。



Chubu Walk

クラブ運営委員会が主催するChubu Walkが5月11日に開催された。学生50人、教職員2人が岐阜県恵那市の中部大学研修センターから春日井キャンパスまでの約44kmを歩いた。参加者は午前9時頃出発し休憩ポイントで体を休めながら歩き続け、午後7時36分にトップがゴールし、午後8時30分までに全チームが中部大学に到着した。



日・トルコ外交関係樹立100周年記念& 中部大学国際関係学部創設40周年記念講演会

6月21日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで中山紀子教授(国際学科)企画の「日・トルコ外交関係樹立100周年記念&中部大学国際関係学部創設40周年記念講演会」が行われ、学生、教職員、学外、総勢193人が参加した。国際関係学部長の中野智章教授、在名古屋トルコ共和国総領事のダムラ・ギュミュシカヤ氏からのあいさつのあと、4人の登壇者が順にトルコと日本社会の諸側面について語った。



父母との集い

保護者を対象とした父母との集いが開催された。6月8日、22日の2日間行われ保護者1,847人が参加した。全体会では西川和範後援会長のあいさつのあと、大学の近況や学生生活について話があった。その後、学部(学科)説明会、希望者には学科教員との個別面談、キャリア支援課の就職相談が行われた。また、学生による「キャンパスツアー」も行われ、多くの保護者が参加した。



春日井市消防団中部大学機能別分団入退団式

5月15日午後、51号館3階の講義室で、春日井市消防団中部大学機能別分団入退団式が行われ、スポーツ保健医療学科の4年生9人が退団し、新たに同学科の1年生9人が入団した。春日井市からは春日井消防本部の消防長、副消防長らにご出席いただき、宣誓書を1年生の大野桜羽さんが読み上げた。学生消防団は、任務を限定した「機能別分団」として避難誘導や応急救護等を担当する。



人文学部設立25周年記念イベント

5月1日午後、三浦幸平メモリアルホールで人文学部設立25周年記念イベント「やっぱり、人文学部でよかった!」が行われ、学生、教職員450人が参加した。記念イベントでは卒業生によるプロジェクトマッピングや歌の披露、各分野で活躍する各学科の卒業生5人によるトークセッションなどが行われた。



100円朝食

4月8日～5月24日、第1学生ホールで、学生の食習慣の改善や生活習慣の形成、物価高騰に対する経済支援を目的として100円で朝食が提供された。学生らは和食やパン、カレーライスから好きなものを選んでいった。なお、本取り組みは「中部大学後援会」の支援により実施された。



女子学生就職支援「就活用メイク講座」 男子学生就職支援「メンズフレッシュャーズ講座」

5月8日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA5階クリエイティブ・ラボBで女子学生を対象とした、就活用メイク講座が、1階アクティブホールで男子学生を対象とした、メンズフレッシュャーズ講座が開催された。「就活用メイク講座」に27人、「メンズフレッシュャーズ講座」に21人が参加した。面接での第一印象についてと清潔感のあるメイクアップ、身だしなみなどを学んだ。



第29回学生選書

6月15日、三省堂書店名古屋本店で第29回学生選書が開催され、学生14人が参加した。授業に必要な本や新しい参考書などを書店で学生自身が選ぶことができ、選書基準を満たせば学生に代わり附属三浦記念図書館が購入する。このツアーで149冊を購入し、図書館1階閲覧カウンター前の学生選書コーナーに並べられる。



人文学部 こまき産業フェスタ2024に出展

5月25・26日、パークアリーナ小牧で開催された「こまき産業フェスタ2024」に、人文学部の学生らが出展し、自作のSDGs絵本、こまきこども未来館で上映しているプロジェクションマッピングや簡易VRメガネの作成と映像体験などでSDGs達成に向けた地域貢献活動の紹介を行った。



第1回国際サロン「コーヒーの歴史と英国文化」

5月17日午後、20号館1階学生ラウンジで国際関係学部主催第1回国際サロンが行われ、伊藤裕子教授がロンドンのコーヒーハウスについて講演した。学生、教職員、学外、総勢20人が参加した。参加学生は国際文化に親しみ、講演会後実施の「なんでも相談会」では1年生が国際学科を知る機会となった。



あつまれ!! わんぱく隊

5月18日午前、現代教育学研究所と現代教育学部共催の「あつまれ!! わんぱく隊」が開催された。わんぱく隊の学生が年中から小学2年生までの子どもを対象に、「みんなでピクニック!」をテーマに身体を使った遊びと花や小鳥で彩り、華やかなピクニックの丘に仕上げる造形活動を行った。



オハイオ大学との学術交流協定締結50周年記念エッセイ集『留学・国際交流が人生に与える影響—50年・2000人の証言』発表会

5月15日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールでアメリカ・オハイオ大学との学術交流協定締結50周年記念エッセイ集『留学・国際交流が人生に与える影響—50年・2000人の証言』が出版され、発表会が行われた。オハイオ大学からGonzalez学長一行12人が来学し、エッセイ集発表会に参加した。



中京テレビ 小島英幸氏による特別講義

5月24日午前、経営総合学科の「広告論」で中京テレビの小島英幸氏による特別講義が行われた。中京テレビのコポレートキャラクター「チュウキョ〜くん」の誕生秘話やCM制作についてご講演いただき、学生らはアイデアの創出方法など興味深く真剣に聞き入っていた。



2024年度中部大学 次世代研究者挑戦的プログラム採用式

5月28日午後、16号館10階創発学術院で、2024年度中部大学次世代研究者挑戦的プログラム採用式が行われた。採用されたのは大学院博士後期課程1年の曾布川璃音さん(工学研究科宇宙航空理工学専攻)、野呂凛太郎さん(応用生物学研究科応用生物学専攻)、瀬口愛斗さん(生命健康科学研究科生命医科学専攻)。



令和6年能登半島災害ボランティアに参加

5月25日、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が、石川県災害対策本部が募集している災害ボランティア活動に参加し、被災物の片付けや運搬を行った。



ひとり暮らし入門

学生相談室主催で、1回目は5月15日午後「ソロ活入門交流会」が、2回目は5月22日午後「ソロ活クッキング」が行われ、学生延べ22人が参加した。



第36回清掃キャンペーン

5月22日午後、C.U.P. (Clean Up Project in Chubu Univ.)の学生を中心に第36回清掃キャンペーンが行われた。学生約120人が参加し、キャンパス各所を清掃した。



管理栄養科学専攻海外研修報告会

5月1日午後、30号館1階の講義室で食品栄養科学科管理栄養科学専攻の学生らが海外研修の報告会を行った。学生、教職員合わせて74人が参加した。



第15回法律カフェ

不言実行館運営委員会主催で、7月10日午後、「第15回法律カフェ『法的な視点で学ぶハラスメント～これって言いがかり?それとも罪～』」が不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデントコモンズで開催され、学生、教職員合わせて18人が参加した。愛知学院大学社会連携センター教授の田中淳子氏と同センター教授で弁護士の浅賀哲氏らとハラスメント、法とは何かについて学んだ。



Red Bull×中部大学キャンパス フラグシップラン

4月28日、春日井キャンパスでRed Bullが主催する「Red Bull×中部大学 キャンパスフラグシップラン」が開催された。学内外から11人の参加者が集まり、山田壮流さん(スポーツ保健医療学科2年)が最後までキャッチャーカーに追いつかれることなく、2時間で約28kmを走り抜いた。



告知1

第61回 中部大学祭

統一テーマ 「Moment ～感覚のシンフォニー～」

11月2日(土)～4日(月)

主なプログラム

- 目玉企画1日目は「ちゅとらカップ4時間耐久リレーマラソン」、2日目は「中夜祭」「タレント企画」「Symphony Parade」、3日目は「後夜祭」
 - 恒例の「学生・クラブ有志」「ステージ」「模擬店」「研究発表展」など今年も開催
- その他、多彩なプログラムを予定。中部大学祭実行委員会一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

告知2

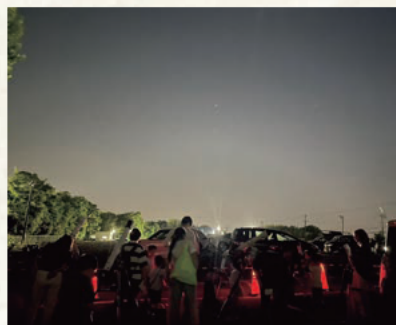
中部大学フェア2024

開催日時 9月12日(木) 午前10時～午後3時30分

会場: 不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホール、体育館

プログラム

- 特別講演
「『社会の中のパロマ』～失敗からの学び～」
株式会社パロマ 代表取締役社長 小林弘明氏
会場: 不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホール
- ポスターセッション ●ミニ講演会 ●ラボツアー
- 大学院生による研究発表 ●技術相談・知的財産相談 など



星空かんさつ会

6月14日午後、天文台天体観測所で小学生・中学生向けに星空かんさつ会が行われ、天文学生サポーター13人が参加した。天文台天体観測所内で天文についての解説が行われた他、天文台観測室などで星空の観察を行った。

新刊紹介



エルサルバドルを知るための66章 第2版

共編著 田中高教授(国際学科)
発行 明石書店 2024年5月15日
定価 2,000円+税



留学・国際交流が人生に与える影響 —50年・2000人の証言

共編著 塩澤正教授(国際交流センター長)
発行 中部大学 2024年5月15日
定価 1,800円+税

Random Shot 第197回

自分の経験を学生に還元

工学部事務室
鈴木 佑介さん

休日は2歳のお子さんと出かけることが多い。お子さんが大の水族館好きでアクア・トトぎふの年間パスポートを購入後、4カ月間で既に7回訪れた。趣味は野球観戦で某オレンジ色の球団のファン。

「自分自身が学生時代に、教員・事務職員の皆さんに支えられ、充実した4年間を過ごせたことに感謝し、後輩となる学生へ少しでも還元できればと思い、中部大学職員の仕事を選びました」と語るのは工学部事務室の鈴木さん。

工学部と理工学部に関連する学内外の奨学金や授業編成に関する調査や依頼の取りまとめ、高校生を対象としたロボットコンテストの運営、星空かんさつ会などを開催する天文台の事務局など鈴木さんが担当する業務は多岐にわたる。「主な役割は授業や研究活動、イベントなどが円滑に行えるようにサポートすることです。相手の心情を思いはかり何を求めているか、何に困っているかを理解できるように心がけています。また、『ありがとう』など感謝の言葉をいただいた時にはやりがいを感じます」

ビジネススキルを在学中に学ぶ

本学経営情報学部卒業生の鈴木さん。入学当初から新しいことにチャレンジしたいと思い、大学祭実行委員会に所属。「大学祭を作り上げていく中で教職員の方から、書類の書き方や人との接し方など社会人になって必要なスキルをたくさん教えていただきました。この経験は、今も仕事に取り組みむ上で大きな経験値となっています」。学生の皆さんへ「4年間の大学生活は長いようであつという間に過ぎてしまいます。クラブ・サークルに所属したり、学内で行われるいろいろなイベントに積極的に参加するなど、大学生活を謳歌してください」とメッセージを送る。



株式会社イーオン

菅原 希美さん

2011(平成24)年度英語英米文化学科卒業

英会話教師として、 運営スタッフとして

株式会社イーオンで英会話教師とマネジメントスタッフを務める菅原さん。子どもから大人まで幅広い年代に英語を教えながら、営業、広告・広報、スタッフ育成などスクール運営のさまざまな業務も担っている。

「新卒で就職した会社でも英語を使う機会がありましたが、それ以上に英語を中心とした仕事がしたくて転職しました。マネジメントスタッフとしての採用だったのですが、英語力が認められて英会話教師に推薦され、兼任することになりました」

生徒の成長を活力に

今や英語はどの業界でも必要とされている。6歳までに“英語耳”を育てると良いと言われることから、最近では1歳から英会話教室に通う子どもが増えているという。「最初は英語が全く話せなかった生徒様が人前で発表できるようにまでなると、成長を感じます。また、英検®などの資格や、高校・大学受験対策などにも力を入れていて、合格した際に生徒様以上に喜んで泣いてしまうこともあります。また、会社

員の方がTOEIC®などで目標点をクリアして昇進したという報告を聞くのもとてもうれしいです」

英会話が上手になりたいけれど全く話せない、という方には、「大きな目標を持ちつつ、ここまでできるようになるという小さな目標も立て、達成できたら次の小さな目標を立てることを繰り返すことをお勧めします」と親しみのある笑顔で穏やかに語る。

英語英米文化学科での 経験を生かして

幼い頃から英語に触れてきた菅原さんも最初は英語を全く話せなかった。話せるようになりたいと思い、本学の英語英米文化学科で留学を経験し、自分から積極的に人と接することが多くなった。

「コミュニケーションで一番大切なのは、人に興味を持つことです。相手のことを知りたいと思うと、さまざまな質問が生まれてくるので、自分から話し掛けます。英会話でも同じです。自分のことを知ってもらうための答えを用意しても、相手から質問されなければ披露できず、受け身の姿勢では会話

はなかなか進みません。だから英会話のレッスンでは、まず英語で質問する練習をたくさんします」

留学中は英語を学ぶだけでなく、チャレンジ精神も身についた。「現地で知り合った外国人の友人からいろいろなことを教えてもらい、何にでも挑戦したことは自分の大きな成長につながりました。留学も含め、大学ではたくさんの友人・恩人に囲まれ、その人脈は今でも仕事をする上でかなり役に立っています」

なんでも積極的に チャレンジを

学生時代は大学のイベントごとにはほぼ全て参加し、学年関係なく交流を深めた。後輩となる皆さんには「なんでもチャレンジしてください。迷うくらいならやってみると、必ず学びや新しい発見があります。また、人とのコミュニケーションは社会ですごく大事です。自分から積極的に行動したことにつながった方たちもたくさんいます。いろいろなコミュニティに積極的に入って人脈を広げて、大学生活を楽しんでください」とメッセージを送る。



う ら 話



Chubu Walk



▲ グループで歩く学生たち



▲ 運営を担ったクラブ運営委員会の学生



◀ 完歩証明書が
手渡された



ゴールする学生たち ▶

5月11日、本学の名物行事「Chubu Walk」が開催されました。表紙はスタート前に撮影した集合写真です。

午前9時頃、岐阜県恵那市にある中部大学研修センターを出発しました。各所に設けられた休憩所でドリンクや軽食を取って体を休めながら約11時間かけて中部大学までの約44kmの道のりを歩ききった学生たちは、笑顔もあればちょっと疲れ気味の顔、眠たそうな顔も見受けられ、それぞれのChubu Walkを物語っていました。

午後7時30分頃、学生たちが次々にゴールし、完歩した学生には学生部長の細川健治教授（機械工学科）から完歩証明書が授与されました。受け取った学生たちは記念写真を撮影するなど達成感に満ちていました。

編集 後記

6月5日に開催された全学学科対抗スポーツ大会。天気に恵まれ、メイングラウンドをはじめキャンパス各所では学科の仲間だけでなく学科を超えて交流し、元気に楽しむ姿が見られました。各競技中、出場している学生に向けて最大限に声を張り応援する学生の姿も見受けられ青春を感じました。暑い夏が本格的にやってきます。今号の学生編集委員のページでは熱中症対策について掲載しています。身体に気を付けて夏を目いっぱい楽しんでください！

中部大学通信 ウプト No.230

発行日／2024年7月31日
発行／中部大学ウプト編集委員会
編集／学園広報部 制作課
〒487-8501 春日井市松本町1200
<https://www.chubu.ac.jp/>
Tel: 0568-51-4465(制作課直通)
E-mail: cuinfo@office.chubu.ac.jp